

闘牛



芥川賞受賞作

活劇
復第

井上靖著

芥川賞詮衡委員

佐藤春夫氏評

井上君には、芥川と菊池とを打つて一丸としたやうな藝術性と大衆性がある。

石川達三氏評

井上君はなかなか巧みな技巧のある人で、小説を面白く構成して行く技術をもっている。将来、相当の多作にも耐え得る作家だろうと思う。

闘牛

二百四